

まちの名に 歴史あり

問い合わせ 社会教育課文化財係 (TEL 893・8111)



馬場 (昭和 49 年)

しょうじ ばば 小路・馬場

私市の小路は、旧集落の中で一番高いところにあり、小路の南西を馬場と言います。

この辺りは、山の尾根が前面に突き出した丘のようになった高台で、天野川の氾濫や山の崖崩れなどの危険が無い場所でした。そのため古代から集落が作られ、馬場からは弥生時代の土器が発見されています。

天野川の氾濫や山の崖崩れなどの危険が無い場所でした。そのため古代から集落が作られ、馬場からは弥生時代の土器が発見されています。

わだんざか 和田坂

小路・馬場から松宝寺池の横を通って森へ出る高台を通る道があり、この道から京阪電車の線路を渡る橋が百重ヶ原橋です。この辺りに立って、北から西を見渡すと、井手ノ内・中通り・天田といった私市の水田地帯が広がっています。そして、百重ヶ原橋の少し西の井手ノ内への崖を下る道を、和田坂と呼んでいます。



哮ヶ峰と
クライミングウォール

たけるがみね 哮ヶ峰

鮎返しの滝から溪流を少し下ると、府民の森や星田園地があり、その敷地に大きく切り立った岩肌を持つ山を哮ヶ峰と言います。

ここは昔、石切場でしたが、平成9年のなみはや国体でロッククライミング会場となり、今でもクライミングウォールとして使われています。

はごろもばし 羽衣橋

天女が羽衣をまとして、天から舞い降りる羽衣伝説は日本各地に存在しています。最古の羽衣伝説は1,200年以上も前のもので、滋賀や京都に残されています。

天野川の上流(現在の奈良との県境)にある交野の羽衣橋では、夜空に長く帯のように見える天の川と、花こう岩が風化した白砂と岩を砕いて流

歴史探訪 ～私市～

ボランティアの解説付きで、私市を歩きます。
とき 10月22日(火)午前10時～正午
※河内森駅前集合、私市駅前解散
コース 廃千手寺・天田神社・弘安地蔵ほか
定員 先着30人
申し込み 10月1日(火)午前9時～
問い合わせ 社会教育課文化財係

